

動物実験に関する自己点検・評価報告書

帝塚山学院大学

2019 年 7 月

## I. 規程及び体制等の整備状況

## 1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>帝塚山学院大学動物実験規程</p> <p>帝塚山学院大学動物実験委員会規程</p> <p>動物実験計画書 様式 1-1、動物実験実施者申請書 様式 1-2、実験計画審査数一覧、動物実験結果報告書 様式 2、動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書 様式 3、実験室承認申請書 様式 4、帝塚山学院」大学動物室飼育利用マニュアル</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、機関内規定、同動物実験委員会規程が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

## 2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>帝塚山学院大学動物実験規程、帝塚山学院大学動物実験委員会規程、動物実験委員会名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験管理委員会が適正に設置されている。帝塚山学院大学動物実験委員会は、文部科学省基本指針で定められた 3 種の属性を有する 4 名の委員（委員長 1 名及び副委員長各 1 名及び 2 名の委員）で構成され、提出された動物実験計画書の審査及び本学動物実験に関する内容全般について審議・決定し、学長に報告している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

## 3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 帝塚山学院大学動物実験規程、帝塚山学院大学動物実験委員会規程、動物実験委員会名簿 帝塚山学院大学動物実験計画書様式、帝塚山学院大学動物実験経過・結果報告書様式、飼養保管施設 設置申請書様式、動物実験室設置申請書様式、施設等廃止届け様式
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験の実施に必要な動物実験規程等及び各種申請書様式等が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

## 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 帝塚山学院大学動物実験規定、放射線予防規定、放射性同位元素を動物に投与する実験を行う場合の 要領
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験の実施に関連する様式や手続きを整備している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 帝塚山学院大学動物実験規程、飼養保管施設設置申請書様式、動物実験室設置申請書様式、施設等廃 止届け様式、帝塚山学院大学動物実験施設飼養保管マニュアル

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程等に定められており、確認に必要な各種書式等も適正に定められている。また、飼養保管施設には標準作業手順書として帝塚山学院大学動物実験施設飼養保管マニュアルが定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当しない。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

帝塚山学院大学動物実験委員会規程、動物実験委員会名簿、動物実験委員会議事録、審査結果の通知、動物実験結果報告書、平成 30 年度実験動物飼養保管施設視察記録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

帝塚山学院大学における動物実験の実施に関する規程に基づいて適正に役割を果たしている

4) 改善の方針、達成予定時期

該当しない。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

平成 30 年度動物実験申請書、審査報告、審査結果通知書、前年度動物実験経過・結果報告書、前年度動物実験の自己点検票

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

帝塚山学院大学動物実験規程に基づき、申請された動物実験計画書を動物実験委員会が審査し、学長より承認された動物実験のみ実施できる体制となっている。

動物実験経過・結果報告書と動物実験自己点検票により動物実験の実施状況を把握した。帝塚山学院大学における動物実験が、立案、審査、承認、結果報告を通して、適正に実施されている。事故等の報告はなかった。

4) 改善の方針、達成予定時期  
該当しない。

### 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

#### 1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

#### 2) 自己点検の対象とした資料

「帝塚山学院大学における動物実験の実施に関する規程」、前年度動物実験申請書、審査結果、審査結果通知書、動物実験の自己点検票。

#### 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

「帝塚山学院大学における動物実験の実施に関する規程」の安全管理に注意を要する動物実験についての規程及び放射性同位元素を動物に投与する実験を行う場合の要領に従い、安全のための適切な設備や施設を確保して行った。また、該当する実験について、事故等の報告はなかった。

4) 改善の方針、達成予定時期  
該当しない。

### 4. 実験動物の飼養保管状況

#### 1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 2) 自己点検の対象とした資料

帝塚山学院大学動物実験規程、動物実験施設飼養保管マニュアル、実験動物飼養保管記録簿、動物実験経過・結果報告書、平成 30 年度実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2）、平成 30 年度実験動物飼養保管施設視察記録、緊急時対応マニュアル、逸走時対応マニュアル、緊急連絡先

#### 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

帝塚山学院大学動物実験規程及び帝塚山学院大学動物実験施設飼養保管マニュアルに基づいて、基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制を整えている。帝塚山学院大学動物実験委員会は委員会規程を設け、動物実験の経験を有する実験動物管理者により、日常的に動物飼養保管の管理運営を行っている。本学動物施設では、マウス及びラットの SPF 動物を飼養保管ができる

ことにしている。

4) 改善の方針、達成予定時期

実験動物の健康状態や飼養保管期間などを考慮して微生物モニタリングの 2019 年度中の導入の検討。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

飼養保管施設・動物実験室設置承認番号 施 30□ 01（飼養保管施設）及び施 30-02（動物実験室）に関する設置申請書、審査結果通知書、動物実験管理委員会による動物飼育・実験室視察時の点検票、動物実験施設入退出記録、実験動物飼養保管状況の自己点検票、室温・湿度の記録表、害虫調査報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

施設の設置時に動物実験規程が求める設置基準を満たしていることを委員会が確認しており、毎年の委員会視察と実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2）の提出によって、施設等の維持管理が適正に実施されている事を把握している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験従事者名簿と教育訓練受講表、平成 30 年度動物実験教育訓練実施記録（受講者数、実施時期、教育概要、講師名 等）動物実験教育訓練の記録及び教育訓練資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

教育訓練の実施記録等によって基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。

4) 改善の方針、達成予定時期

次年度から実験動物管理者は日本実験動物学会の実験動物管理者等研修会を受講し専門情報を修得するようにする。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

## 1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

## 2) 自己点検の対象とした資料

動物実験に関する自己点検・評価報告書 帝塚山学院大学ホームページ上の情報公開サイト

## 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書をはじめとして、帝塚山学院大学における動物実験に関する情報を公開している。自己点検・評価、情報公開に関して適正に実施されている。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

2019 年に実施する予定の外部検証の結果を 2020 年度に公開する予定。

## 8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし